

医の倫理・研究倫理とプロフェッショナリズム (Medical Ethics・Research Integrity and Professionalism)

【責任者/担当者】

〔看護学部〕石川 洋子 講師 (兼担教員)
〔医学教育センター〕今西 宏安 准教授
〔臨床教育統括センター〕柏 薫里 講師

【目的】

この授業では、医療や研究に関わる倫理について学びます。医師は時に「医師視点」が絶対的であるという思い込みに陥りがちになります。医療の主役はあくまで患者さんやその家族です。この授業を通して「医療は誰のものか」ということを改めて考えることができるようになること、そして倫理的な考え方を求められる場面において、医師として適切な判断ができるようになることを目指します。

【科目キーワード】

「自律尊重 (Respect for Autonomy)」「無危害 (Nonmaleficence)」「仁恵 (Beneficence)」「正義 (Justice)」「人間の尊厳 (Human Dignity)」「研究公正 (Research Integrity)」「プロフェッショナリズム (Professionalism)」

【到達目標(アウトカム)】

- 医療・生命倫理の基本概念を説明することができる。
- 研究における誠実性、研究者の役割と社会的責任、責任ある研究活動について説明することができる。
- 倫理的問題に対して患者の意思を尊重し、倫理性・社会性・科学性に基づき、合理的に判断することができる。
- 医師に求められるプロフェッショナリズムを身につけることができる。

【ディプロマ・ポリシーと授業科目の関連】

- ・プロフェッショナリズムを理解し、その実践に必要な豊かな人間性を有している。
- ・医の倫理、生命倫理について説明できる。
- ・人生の最終段階における医療を説明し、患者とその家族への配慮を理解できる。
- ・難治性の痛みを含め、患者の苦痛を理解できる。
- ・臨床研究の意義を説明できる。
- ・同級生へ指導・助言ができる。

【概要ならびに履修方法】

講義形式で行います。

【準備学修ならびに事後学修に要する時間】

各授業の前に、講義資料に目を通し、わからない言葉の意味などを調べておいてください(60分)。

【成績の評価方法・基準】

筆記試験(70%)・グループワークの内容とグループワーク成果資料(30%)

【学生への助言】

この科目は講義による基本的知識の学習と、グループワークにより学生自身が倫理的問題について検討することで学生自身が目指す医師像の明確化と臨床倫理能力(医学教育モデル・コア・カリキュラム PR-01-01・PR-04-01 に関連)を育成します。そのため皆さんの主体的な学習姿勢を必要とします。

【フィードバック方針】

問題ならびに正解を掲示もしくは配布します。

【オフィスアワー】

特にありません。授業に関する質問等はメールまたは Moodle で対応します。

【受講のルール、注意事項、その他】

授業中の私語は他の学生の講義を聴く権利を侵害することになりますので、慎んでください。
グループワークに出席しない場合は原則として定期試験の受験資格を認めません。
皆さんの関心、時事により授業内容を変更する場合がありますのでご了承ください。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

「シリーズ生命倫理学」(全 20 巻)シリーズ生命倫理学編集委員会 編(丸善出版) 2012 年

「生命倫理と医療倫理(第 4 版)」伏木信次・樫則章・霜田求 編(金芳堂) 2020 年

「入門・医療倫理 I 改訂版」赤林朗 編(勁草書房) 2017 年

「生命医学倫理」トム・L.ビーチャム 著(麗澤大学出版会) 2009 年

(絶版入手不可 西宮キャンパス図書館所蔵あり)

「WMA 医の倫理マニュアル(原著第 3 版)」樋口範雄 監訳(日本医師会)2016 年

「医学・生命科学の研究倫理ハンドブック第 2 版」上里彩子・武藤香織 編(東京大学出版会) 2023 年

【連絡先】

西宮教学課(教育研究棟 2階、0798-45-6161)